

みけねニ@南極

初級フランス語講座

文法編01

名詞の性と数



名詞の性と数

フランス語の名詞は性と数によって区別される

性別 (genre) \ 数 (nombre)	単数 <i>s.</i> (singulier)			複数 <i>pl.</i> (pluriel)		
男性名詞 <i>n.m.</i> (nom masculin)	père 父	pantalon ズボン	Japon 日本	frères 兄弟	croissants クロワッサン	Champs-Élysées シャンゼリゼ
女性名詞 <i>n.f.</i> (nom féminin)	mère 母	jupe スカート	France フランス	sœurs 姉妹	baguettes バゲット	Philippines フィリピン

名詞は常に性と数を意識すること

性が2種×数が2種＝計4種

m. s. : 男性単数、*f. s.* : 女性単数、*m. pl.* : 男性複数、*f. pl.* : 女性複数



ヨーロッパ言語における普通名詞の性

インド・ヨーロッパ祖語（5000年？以上前）

- ・人間や生物：自然性に従って男性/女性？
- ・事物：中性？

■ 3性（男性/女性/中性）：

- ・ドイツ語・ロシア語・ギリシャ語・ラテン語 etc.

■ 2性（男性/女性）：

- ・フランス語・イタリア語・スペイン語 etc.

■ 2性（共性/中性）：

- ・オランダ語・スウェーデン語 etc.

■ 性別なし：

- ・英語・フィンランド語 etc.



名詞の複数形

原則：単数名詞 + s (このsは発音しない)

単数形と複数形の発音は同じ

objet (ob/jet) *m. s.* → *pl. objets* *m. pl.*

複数形の-sがついた結果tが語末でなくなっても発音は不変

tarte (tar/te) *f. s.* → *pl. tartes* *f. pl.*

複数形の-sがついた結果eが語末（音節末）でなくなっても発音は不変

→複数形の発音は単数形に戻して判断する





première édition : le 13 mai 2020
mise à jour : le 28 octobre 2020

